

津山加茂郷フルマラソン全国大会

20th Anniversary

第20回記念誌

感動のドラマをありがとう



平成24年4月

津山加茂郷フルマラソン全国大会実行委員会

※写真は第14回大会 中原地内

第1回

1993.4.18

【平成5年】
加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

平成4年11月16日第1回実行委員会を開催し、大会要項を決定する。平成5年4月18日岡山県下で初のフルマラソン「作州・加茂フルマラソン全国大会」を開催する。参加申込者は21都道府県から301人で制限時間は6時間。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	301人	254人	232人	91.3%

● 第1回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:46:29	田中 康郎	大阪ロードクラブ

40歳以上 男子

2:47:00	佐藤 宏道	井原走ろう会
---------	-------	--------

18～39歳 女子

3:02:54	松本 晴美	O・I・T・C
---------	-------	---------

40歳以上 女子

3:18:32	板谷 順子	倉敷ランニングクラブ
---------	-------	------------



(勢いよくスタートする選手) 山陽新聞社提供



(沿道で応援する住民)



(実行委員会の取材車・桑原地内)



(参加賞のテレフォンカード)

第2回 1994.4.17

【平成6年】
加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

平成5年12月9日第2回実行委員会を開催し、実行委員会組織・開催要項・予算決定する。コースを東西橋を渡り北上するコースから三ツ岩橋を渡るコースに変更する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	481人	395人	335人	84.8%

● 第2回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:45:17	上田 豊	美原走ろう会

40歳以上 男子

2:43:02	横溝 秀男	
---------	-------	--

18～39歳 女子

3:27:38	横山 佳代子	
---------	--------	--

40歳以上 女子

3:28:24	板谷 順子	福田走友会
---------	-------	-------



(一斉にスタートする選手たち)



(第9回大会まで使用したストップウォッチ)



(家族で応援・阿波地内)



(加茂町に研修に来ていた中国人の李哲雲さん(右から2番目)も参加)

第3回

1995.4.16

【平成7年】

加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

大会名称を「作州・加茂郷フルマラソン全国大会」にする。観光協会は、参加者70名にキャンプ場（バンガロー）を無料開放し、「第8回朝市」を会場内で同時開催する。3月17日阿波村内折返し地点手前に30cmの積雪を確認。当日折り返しの「三角すい」を雪で作成する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	500人	395人	353人	89.3%

● 第3回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:44:28	平尾 勉	デンタルラボ・ヒラオ

40歳以上 男子

2:40:18	横溝 秀男	玉島の森クラブ
---------	-------	---------

18～39歳 女子

3:21:42	三阪 智加江	
---------	--------	--

40歳以上 女子

3:25:52	横山 佳代子	
---------	--------	--



(雪で作った折り返しの「三角すい」 阿波村大杉地内)



(地元特産の杉で作ったkm表示)



(朝市の風景)



(選手への無料サービステント)

第4回 1996.4.21

【平成8年】
加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

上位入賞者に杉の板で作成した賞状を贈呈する。「マスコットの愛称募集」をし、応募総数132点の中から最優秀は勝田郡勝田町の片山亜由美さん（10歳女）の「カモランちゃん」に決定する。コースを三ツ岩橋から清流橋経由に変更する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	618人	559人	463人	82.8%

● 第4回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:35:26	佐々木 彰	東翔クラブ

40歳以上 男子

2:39:56	横溝 秀男	烏城エンジ会
---------	-------	--------

18～39歳 女子

3:00:06	信原 智子	倉敷福田走友会
---------	-------	---------

40歳以上 女子

3:37:07	横山 佳代子	香川RC遊
---------	--------	-------



(消防車による先頭ランナーを知らせる広報車)



(地元選手を応援する横断幕・桑原地内)



(マスコットの愛称募集看板)



(小淵地内)

第5回

1997.4.20

【平成9年】
加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

天満屋陸上部佐々木精一郎総監督、前川未奈選手を招待する。第1回から4回までの優勝者を招待する。入賞者1位から3位に桜、4位から6位に杉の板で作成した賞状を贈呈する。4月26日、山陽放送テレビで「小さな町のフルマラソン」と題して大会準備や当日の様子が30分の番組として放映される。商工会婦人部による「作州矢筈太鼓」演奏がスタート前の選手を激励する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	682人	585人	488人	83.4%

● 第5回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:40:03	川野 定男	日本原自衛隊

40歳以上 男子

2:39:22	小松原 徳雄	倉敷福田走友会
---------	--------	---------

18～39歳 女子

3:02:57	信原 智子	倉敷福田走友会
---------	-------	---------

40歳以上 女子

3:30:18	和気 玲子	岡山白壁
---------	-------	------



(中原地内) 山陽新聞社提供



(地元選手の応援団)



(作州矢筈太鼓の演奏)



(25km給水・阿波地内)

第6回 1998.4.19

【平成10年】
加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

「日本マラソン100選」（マラソン塾・編）、ランニング大会100撰に65位、11年4月に初めて認定される。天満屋陸上部の内田礼子選手を招待する。加茂フォトクラブが第1回「マラソン大会写真展」を開催する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	713人	599人	500人	83.4%

● 第6回優勝者一覧 18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:36:42	佐々木 彰	東翔クラブ

40歳以上 男子

2:42:37	小松原 徳雄	倉敷福田走友会
---------	--------	---------

18～39歳 女子

3:10:35	信原 智子	倉敷福田走友会
---------	-------	---------

40歳以上 女子

3:49:19	川口 長子	高知労山ランニングクラブ
---------	-------	--------------



(選手へのメッセージ)



(日赤の救護車輦・グラウンド内)



(地元の物産販売テント)



(マラソンの広報をする電光の広告塔・津山市山北)

第7回

1999.4.18

【平成11年】

加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

天満屋陸上部武富豊監督と内田礼子選手（10km走行）を招待する。岡山県警音楽隊が開会式で演奏する。種目男子50歳以上の部を新設し、募集人数を500人から700人に増やした。（制限時間折返し地点を3時間にする）平成10年9月に実行委員会が高知県馬路村「おらが村心臓やぶりフルマラソン大会」を視察する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	691人	505人	416人	82.3%

● 第7回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:48:38	西岡 孝幸	

40歳～49歳 男子

2:40:46	小松 原徳雄	倉敷福田走友会
---------	--------	---------

50歳以上 男子

2:57:18	柿本 矩夫	三菱化学エンジニアリング
---------	-------	--------------

18～39歳 女子

3:17:56	大場 真弓	エグザス岡山
---------	-------	--------

40歳以上 女子

2:59:18	信原 智子	倉敷福田走友会
---------	-------	---------



（小さな声援）



（雨の中をスタートする選手）



（県警音楽隊の演奏）



（折り返し：阿波地内）

第8回 2000.4.16

【平成12年】
加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

平成11年12月28日「作州・加茂郷フルマラソン全国大会」のホームページを開設する。第7回大会までの優勝者5名を招待する。津山駅～加茂駅～会場間の臨時バス運行を開始する。第1回の前夜祭を加茂町農林センターで開催し、アトラクションとして矢筈太鼓・山彦太鼓を演奏する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	674人	577人	493人	85.4%

● 第8回優勝者一覧 18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:40:46	山田 忠志	大市珍味

40歳～49歳 男子

2:42:38	小松原 徳雄	倉敷福田走友会
---------	--------	---------

50歳以上 男子

2:53:17	飯田 幸次	三菱重工RC
---------	-------	--------

18～39歳 女子

3:19:00	浜田 千晴	
---------	-------	--

40歳以上 女子

3:03:50	信原 智子	倉敷福田走友会
---------	-------	---------



(県警音楽隊のドリル演奏)



(桑原地内) 山陽新聞社提供



(笑顔でゴールする選手)



(前夜祭・加茂町農林センター) 山陽新聞社提供

第9回 2001.4.15

【平成13年】
加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

今大会より選手へのメッセージカードを加茂保育園・加茂幼稚園・加茂小学校・阿波幼稚園・阿波小学校の園児・児童が600枚作成し、贈る。全国ランニング大会100撰に2回目の認定をされる。選手募集を山陽放送テレビで、1回15秒（5回）行なう。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	792人	659人	558人	85.5%

● 第9回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:34:59	森下 泰孝	井原RC

40歳～49歳 男子

2:39:40	小松原 徳雄	倉敷福田走友会
---------	--------	---------

50歳以上 男子

2:51:35	大森 一三	JR広成建設
---------	-------	--------

18～39歳 女子

2:55:11	森下 即子	井原RC
---------	-------	------

40歳以上 女子

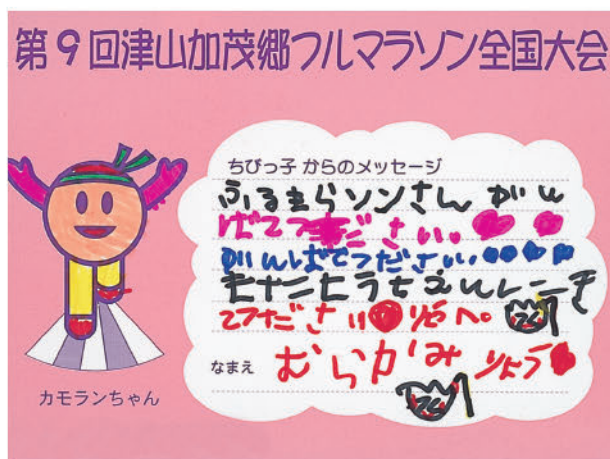
3:12:43	和気 玲子	岡山白壁
---------	-------	------



(私設の給水所・小淵地内)



(がんばって!!)



(メッセージカード)



(子どもたちもお手伝い)

第10回 2002.4.21

【平成14年】
加茂町総合グラウンド 午前9時40分スタート

天満屋陸上部 松尾和美選手を招待する。今大会より自動計測システムを導入する。阿波地内竹之下から高矢組の間は、バイパスから村道を走行するコースに変更する。応援手旗1,000本を知和老人クラブが製作する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	918人	630人	586人	93.0%

● 第10回優勝者一覧 18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:41:15	森 上 洋 和	広島県庁RC

40歳～49歳 男子

2:35:54	森 下 泰 孝	井原RC
---------	---------	------

50歳以上 男子

2:51:33	江 口 譲 典	加古川走友会
---------	---------	--------

18～39歳 女子

3:14:27	坂 本 直 子	倉敷福田走友会
---------	---------	---------

40歳以上 女子

3:09:27	和 気 玲 子	岡山白壁
---------	---------	------



(開会式であいさつする天満屋 松尾選手)



(今大会より自動計測システムを採用する)



(実行委員会の先導と取材車・成安地内)



(阿波地内)

第11回 2003.4.20

加茂町総合グラウンド
〈フルマラソン〉 午前10時スタート
〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート
【平成15年】

今大会からミニマラソンの部（4.2195km）を新設する。参加費は1人1,500円で、コースは県道を一部経由し農道を3回周回する。全国ランニング大会100撰に3回目の認定をされる。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	974人	810人	724人	89.3%

● 第11回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:39:17	高橋 正尚	玉島の森クラブ

40歳～49歳 男子

2:45:52	鳥越 秀樹	アミーゴ倉敷
---------	-------	--------

50歳以上 男子

2:42:38	小松原 徳雄	倉敷福田走友会
---------	--------	---------

18～39歳 女子

3:06:33	坂本 直子	倉敷福田走友会
---------	-------	---------

40歳以上 女子

3:22:12	藤田 千尋	
---------	-------	--



(東西橋付近・中原地内)



(20km地点・阿波地内)



(私設のサービスエイド・河井地内) 山陽新聞社提供



(お互いに健闘をたたえる参加者) 山陽新聞社提供

第12回 2004.4.18

加茂町総合グラウンド
〈フルマラソン〉 午前10時スタート
〔平成16年〕 〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート

ミニマラソンのコースを、フルマラソン大会と同じコース上へ変更し、折返しは成安榎付近にする。フルマラソン参加者が、1,000人を超える。全国ランニング大会100撰に4回目の認定をされる。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	1,229人	1,030人	870人	84.4%

● 第12回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:39:47	西村 譲治	城北中学校教員

40歳～49歳 男子

2:54:44	森下 泰孝	井原RC
---------	-------	------

50歳以上 男子

2:59:34	小松原 徳雄	倉敷福田走友会
---------	--------	---------

18～39歳 女子

3:07:15	久礼田 香奈	ソフン
---------	--------	-----

40歳以上 女子

3:23:18	和気 玲子	走酔岡山
---------	-------	------



(歓喜のゴール) 山陽新聞社提供



(平成17年に開催される岡山国体のマスコット「ももっち」)



(完走証を発行する加茂町スポーツ少年団 野球部員)



(小旗を振って応援する住民・知和地内) 山陽新聞社提供

第13回 2005.4.17

津山市加茂町スポーツセンター総合グラウンド
 〈フルマラソン〉 午前10時スタート
 〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート
 【平成17年】

平成17年2月28日市町村合併により、加茂町・阿波村も津山市になる。実行委員会の構成団体に津山市・津山市教育委員会・作州津山商工会が新たに加わる。大会名称に「合併記念」を入れる。募集人数を800人から1,000人にする。全国ランニング大会100選に5回目の認定をされる。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	1,154人	1,000人	867人	86.7%

● 第13回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:38:14	山根文雄	松下電工

40歳～49歳 男子

2:43:39	鳥越秀樹	アミーゴ倉敷
---------	------	--------

50歳以上 男子

2:50:38	小松原徳雄	倉敷福田走友会
---------	-------	---------

18～39歳 女子

2:52:17	鈴木純子	三菱重工高砂
---------	------	--------

40歳以上 女子

3:12:05	和気玲子	走酔岡山
---------	------	------



(スターターは山陽新聞社の越宗社長)



(私設のサービスステーション・知和地内) 山陽新聞社提供



(選手を激励する子どもたち・桑原地内) 山陽新聞社提供



(桃の花の中を走る選手・公郷地内) 山陽新聞社提供



(選手の応援団)

第14回 2006.4.16

津山市加茂町スポーツセンター総合グラウンド
 〈フルマラソン〉 午前10時スタート
 〔平成18年〕 〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート

今大会より「津山加茂郷フルマラソン全国大会」に名称変更する。全国ランニング大会100撰に6回目の認定をされる。18年7月マルゼンスポーツ・文化活動助成金交付を受ける。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	1,150人	931人	858人	92.1%

● 第14回優勝者一覧 18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:38:09	山根 文雄	松下電工

40歳～49歳 男子

2:43:10	鳥越 秀樹	アミーゴ倉敷
---------	-------	--------

50歳以上 男子

2:51:02	小松原 徳雄	倉敷福田走友会
---------	--------	---------

18～39歳 女子

3:30:57	多久和ミッシェル	平田東RC
---------	----------	-------

40歳以上 女子

3:15:00	和気 玲子	走酔岡山
---------	-------	------



(清流橋付近を走行する選手)



(前日受付に向かう選手)



(メガホンを持って声援)



(桜の下を走る選手・知和地内) 山陽新聞社提供

第15回 2007.4.15

津山市加茂町スポーツセンター総合グラウンド
 〈フルマラソン〉 午前10時スタート
 〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート
 【平成19年】

マラソン実行委員会が「第65回（平成19年）山陽新聞奨励賞（社会部門）」を受賞する。全国ランニング大会100撰に7回目の認定をされる。加茂町小淵地内の市道が土砂崩れのため、塔中・小中原地内を通るコースに変更する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	1,317人	1,171人	1,016人	86.7%

● 第15回優勝者一覧 18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:32:46	南部 恭一	三木RC

40歳～49歳 男子

2:39:19	西村 譲治	城北中学校教員
---------	-------	---------

50歳以上 男子

2:53:30	小西 健雄	シャープ
---------	-------	------

18～39歳 女子

2:58:34	松田 英子	兵庫県陸協
---------	-------	-------

40歳以上 女子

3:18:06	福岡 聡子	大阪陸協
---------	-------	------



（山陽新聞奨励賞の受賞を桑山市長へ報告）山陽新聞社提供



（初めてコースとなった小中原地内）山陽新聞社提供



（山陽新聞社の「さん太」号外に見入る選手たち）山陽新聞社提供



（私設エイド・河井地内）山陽新聞社提供

第16回 2008.4.20

津山市加茂町スポーツセンター総合グラウンド
 〈フルマラソン〉 午前10時スタート
 〔平成20年〕 〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート

規約改正をし、運営委員会新設し、検討委員会を廃止した。マラソン実行委員会が、平成21年4月「平成19年度岡山県生涯スポーツ功労賞」を受賞する。平成20年3月9日(日)に第1回のAED講習会を実施、20名が受講する。全国ランニング大会100選に8回目の認定をされる。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	1,458人	1,222人	1,111人	90.9%

● 第16回優勝者一覧 18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:43:46	宮城 要	

40歳～49歳 男子

2:42:34	西村 譲治	城北中学校教員
---------	-------	---------

50歳以上 男子

2:59:16	田中 康郎	
---------	-------	--

18～39歳 女子

3:09:10	佐藤 恵美子	桃太郎夢クラブ
---------	--------	---------

40歳以上 女子

3:20:46	和気 玲子	走酔岡山
---------	-------	------



(知和地内)



(功労賞盾)



(救急法講習会・スポーツセンター体育館) 山陽新聞社提供



(ミニマラソンのゴール風景)

第17回 2009.4.19

津山市加茂町スポーツセンター総合グラウンド
〈フルマラソン〉 午前10時スタート
〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート

【平成21年】

平成21年3月8日に緊急時に備えるため第2回のAED講習会を実施、19名が受講する。今大会より、前夜祭を中止する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	1,553人	1,314人	1,112人	84.6%

● 第17回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:35:49	山本 泰明	

40歳～49歳 男子

2:48:21	柿原 貴次	柿原カイロRC
---------	-------	---------

50歳以上 男子

3:05:49	楢 佳幸	大田FC
---------	------	------

18～39歳 女子

3:07:11	大八木和佳子	
---------	--------	--

40歳以上 女子

3:14:29	佐藤 恵美子	桃太郎夢クラブ
---------	--------	---------



(がんばって)



(町内会も看板で応援!!)



(伴走をする選手・軒戸橋)



(ミニマラソンのスタート) 山陽新聞社提供

第18回 2010.4.18

津山市加茂町スポーツセンター総合グラウンド
 〈フルマラソン〉 午前10時スタート
 〔平成22年〕 〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート

ミニマラソンの参加費を1,000円に改定する。加茂中学校吹奏楽部が開会式で演奏する。手話通訳2名を配置する。

種目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	1,776人	1,496人	1,384人	92.5%

● 第18回優勝者一覧 18～39歳 男子

タイム	氏名	所属
2:31:44	山本 泰明	

40歳～49歳 男子

2:37:02	吉田 雅広	野田川クラブ
---------	-------	--------

50歳以上 男子

2:45:32	柿原 貴次	柿原カイロRC
---------	-------	---------

18～39歳 女子

3:31:43	小林 喜美子	三木RC
---------	--------	------

40歳以上 女子

3:10:49	佐藤 恵美子	桃太郎夢クラブ
---------	--------	---------



(加茂中学校吹奏楽部の演奏)



(旗を持ってゴールへ) 山陽新聞社提供



(桜の下を走る選手・山下地内)



(がんばって・桑原地内)

第19回 2011.4.17

津山市加茂町スポーツセンター総合グラウンド
 〈フルマラソン〉 午前10時スタート
 〔平成23年〕 〈ミニマラソン〉 午前10時30分スタート

20周年記念事業検討委員会を設置する。3月11日に発生した「東日本大震災」の被災者に募金活動をし義援金を贈る。また、東北大震災の救援のため救護を依頼していた(財)日本赤十字社岡山県支部が急遽これなくなる。田中貴金属工業(株)より特別協賛として、金・銀貨メダルの寄贈を受ける。日本テレビ系列「行列のできる法律相談所」レギュラー出演の東野幸治が初のフルマラソンに出場する。

種 目	参加申込者	当日出走者	完走者	完走率
フルマラソン	1,991人	1,681人	1,505人	89.5%

● 第19回優勝者一覧

18～39歳 男子

タイム	氏 名	所 属
2:37:20	高 見 真	はッピーず

40歳～49歳 男子

2:36:24	吉 田 雅 広	よさの走遊会
---------	---------	--------

50歳以上 男子

2:49:13	柿 原 貴 次	柿原カイロRC
---------	---------	---------

18～39歳 女子

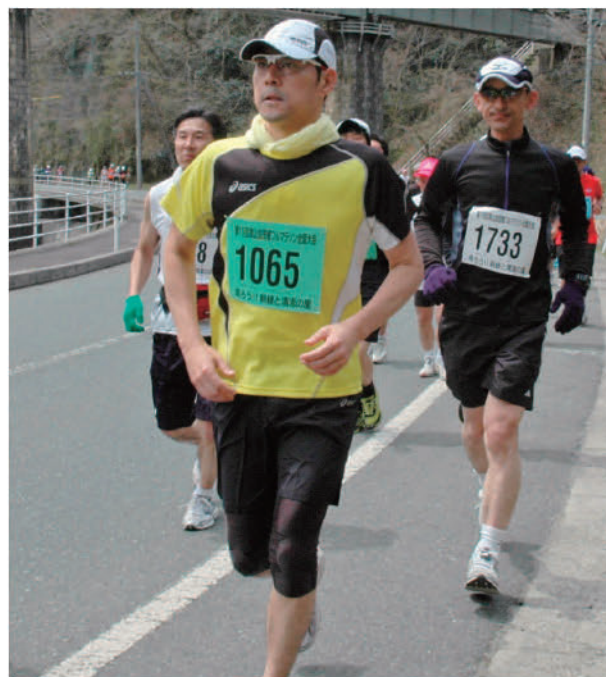
3:06:04	大八木和佳子	輝走倶楽部
---------	--------	-------

40歳以上 女子

3:08:46	佐 藤 恵 美 子	桃太郎夢クラブ
---------	-----------	---------



(田園風景の中を走る選手・阿波地内) 山陽新聞社提供



(行列のできる法律相談所出演の東野選手も初マラソンにチャレンジ・山下地内) 山陽新聞社提供



(田中貴金属工業株から贈呈された金メダル)



(東日本大震災の募金) 山陽新聞社提供

津山加茂郷フルマラソンへのおもい 参加者・スタッフからの声



第20回の記念大会が、全国各地から多数の選手をお迎えし、盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

第1回大会を準備していた当時は振りかえりますと、私が体育協会の会長をしていた平成3年ごろに、加茂町から何か全国に発信できるイベントはないか、色々話をしていました。その話

の中に「県下でまだ開催されたことのないフルマラソンを開催してみたら」という話があり、実行することになりました。

そして、平成5年4月の第1回大会を開催するまで、町・地元沿線町内会や公安委員会等との協議や、会議に明け暮れました。とくに平成4年11月の実行委員会を立ち上げるまでの苦労は、筆舌に尽くしがたいものがあり、当時の関係者には、20年たった今でも頭が下がる思いです。

第1回大会は、「加茂町・阿波村の歴史・風土・特産品等を広く全国に紹介し、併せて地元住民との交流を深めることと、何より無事に終了することのみ願っていました。

しかし、早いものでこうして始まったこの大会も、20回の歴史を重ねることができました。これもひとえに、全国から参加してくれた選手、ボランティア活動をしていただいた方々を始め、関係者の努力の賜物と深く感謝いたします。

そして、この小さな山里から興ったマラソンの火が全国に広がり、さらに次の世代に引き継がれることを、心から願ってやみません。

前実行委員長 奥埜 重夫さん



岡山のフルマラソンの先駆けと言われて20回目を迎えられることに、改めて感慨深いものがあります。私設テントの始まりは主人の弟（大阪在住）が走るので、家族で応援していました。翌年から弟はふるさとを走るランナーの方たちにフルーツを振る舞いたいと、車にいっぱい積んで持ち帰ります。近所の方たちに手伝って頂きながら、次第におにぎり（赤飯、山菜おこわ、白飯等）を持ち寄り、足りなくなると追加のご飯を炊き、釜ごと持って走り、テントで握ったものを手渡しすることもしばしばです。回を重ねるごとに顔なじみも増えて「また来ましたあ!!」「フルーツ楽しみ!!」「来年も待っています!!」と会話が弾みます。毎年お礼の手紙を下さる方など楽しいふれあいが溢れ、地域の活性化につながっています。今回2回目の招待選手に迎えられる義弟は、各地の大会に参加してみて加茂の特色はのどかな自然の景色を楽しみながら走れること。そして何よりも沿道の方たちの暖かい応援とてなしの数々は別格で、市をあげての歓迎の心がとても嬉しいと喜んで

います。

再びマラソン100撰に選んでいただけるように、心を込めて盛り上げていきたいと思ひます。

地元ボランティア 小原まさゑさん
(河井 私設テントサービス)



20回目のフルマラソン大会を迎え、こんなに長く続き、そして盛大になるとは思ってもいませんでした。回を重ねるごとに参加者が増えるのは、ボランティアの方々の心の込めもてなしのおかげです。特に河井

や知和ではランナーが楽しみにするほど。そして往路は「いってらっしゃい!」復路では疲れきり足元もままならぬ選手に「おかえりなさい」と励まし、声援をおくる沿道の応援者の方々。

私も1回から16回まで、リタイヤしそうな時もありましたが、すべて完走できたことは生涯の宝です。加茂中学校のOBが中心になり、加茂走ろう会をつくりました。大原や蒜山の大会に出るうち、加茂でマラソン大会をしたい!というみんなの思いが全国の「マラソン100撰」に選ばれるような大会に育てたと思います。

記録を求める人、制限時間いっぱいを楽しむ人など、目的は違っても同じ距離を満喫していただくよう、4年前から桑原で給水に励んでいます。

参加者 小林 文江さん



第20回記念津山加茂郷フルマラソン全国大会の開催、誠にありがとうございます。

心よりお慶びを申し上げます。

振り返ってみれば、平成5年に第1回大会が開催されるにあたり、当時の発起人の皆は一つ一つの未知の難問を解決し、第1回大会を開催することができましたが、振り返ってみれば、20年も前は思えません。

当時は、阿波村体育協会の事務局長として、会長（当時高矢村長）は通常の公務多忙により、会長の指示により実行委員会に出席したものです。

思い起こせば、はや20年かと思えたり、また、20年も続いたことについて、関わっておられます皆様に心より感謝しております。

「走ろう 新緑と清流の里」をテーマに、そして、津山加茂郷（当時加茂町・阿波村）の歴史・風土・特産品等広く全国に紹介するとともに、参加者の皆さんと地域住民の皆さんの交流、和を築く目的を忘れず、第20回記念大会が開催できたことを信じて止みません。

どうぞ今後におかれましても、記念大会が1回で終わることのないよう、主催者、後援者、協力機関団体者、協賛者様をお願い申し上げますとともに、今後、本大会の益々の発展と、地域住民の活性化が計れますことをお祈り申し上げます。

地元スタッフ 大塚 賢一さん



人生の折り返し地点を過ぎ、49歳で逝った父の齢を追い越そうとしている私は、およそスポーツとは無縁であった。沿道で小旗を振り、名簿とゼッケンを見ながら声援をおくっていたが、地元のランナーが少ないことに淋しさを感じていた。

「おばさんでもイッチョ頑張ってみるか」と、フル完走に挑戦することに。娘の心配や、夫の諦めの理解?のもと、県内外の大会を探して3kmから参加。1年後、50歳で加茂郷フルに初出場。4km下った後は折り返しまで、ひたすら上り。声援や驚きの声を耳にしながら給水所を目指す。阿波に入り、止まろうとする脚を応援の声が押してくれる。マラソンで知り合った人の「大田さんガンバ」の声にも励まされる。私設エードでのレモンやおにぎり・お好み焼き等もおいしく有り難かった。大会を支えてくださる多くの方々に感謝しつつ5年完走。その後は給水・救護も経験。いろんな人との出会いがあった遅蒔きの青春。今は、プールで100m個人メドレーに挑戦中。これからはまた、沿道で声を掛ける側に。

20周年おめでとうございます。

参加者 大田 和子さん



第20回津山加茂郷フルマラソン
全国大会、本当におめでとうございます。

平成5年4月に岡山県北の小さな町から、加茂・阿波地区の住民の皆さん、大会役員の皆様が「新緑と清流の里」を全国のランナーの皆様知ってもらおうと心をつなげて加茂・阿波地区ならではの手づくりの大会を始めて20年。年々大会も盛大になり、「全国ランニング大会100撰」に8回も選ばれました。

これからも初心を忘れることなく、この大会が長く続くことを望みます。

地元スタッフ 香川 平治さん



津山加茂郷フルマラソン第20回大会開催おめでとうございます。

知和成年部は、往路10km・復路32km付近で給水所を展開しています。お水やスポーツドリンクはもとより全国でも珍しい「お好み焼き」を

ランナーに無料で提供しています。

ランナーが立ち寄るごとに「ここには絶対寄るつもりだった。」「お好み焼き、珍しい!」「アツー!おいしい!」「元気が出た。来年も来るから!」と口々に言ってくれます。ランナーのホームページに取り上げられ、全国でも噂の給水所となっています。

津山加茂郷フルマラソンは、全国的に有数の高低差があり、ランナーは体力を相当消耗すると聞いています。今回も完走できるよう心を込め、「お好み焼き」を焼きます。また、ランナーとのふれあいを部員一同楽しみにしています。

ぜひ、お立ち寄りください。

地元ボランティア 倉本 直行さん



昭和の末から平成にかけて、マラソン大会のブーム期にあり、各地で大会が開催されていました。加茂町でも大会を開催したいと思い、陸上部で、今後大会を始めるならば岡山県でも少ないフルマラソン大会をやりたいと話がまとまりました。各地の大会要項を集めながら2回の練習会を開催しまし

た。警察署に相談に行き、道路使用をお願いするが、公道を使用しての大会を抑える時期にあり、一団体での大会では無理で地域をあげての大会でなければ許可できないとのことでした。そこで、体育協会等に相談し、賛同してもらい、平成5年に第1回作州加茂郷フルマラソン全国大会を開催することができました。コース設定は陸上部員が、計測機を押して42.195kmを歩いて計測設定をし、往復コースにするには、阿波村内を通り過ぎ、林道を登っての高低差のきついコースとなりました。その後、清流橋の完成により阿波村内での折り返しコースになりました。20年間に、道路工事・改修等のたびにコースを計測して変更するなど大変な20年間でしたが、フルマラソン大会で丸となり取り組み、いろんな人とのつながりができました。これを大切に選手から「走って良かった、次回もぜひ参加したい」と言われる大会を続けていきたいと思っています。

地元スタッフ 福寺 正さん



第9回大会の時にゲートボール協会の方へマラソンの応援旗を作る依頼があり、青柳、知和老人会が先駆けて約3年間作られました。その後、第12回大会からかけはし作業所が作るようになりました。

所生と手をつなぐ親の会全員で約1,000本の旗を作りました。初めてのことで、竿は青柳の老人会が竹を切ってきてくださいました。糊はメリケン粉を煮て作り、B&Gの一室を借りて旗を並べ、1日かけて乾かしていたと思います。竿の竹は大小様々な節をきれいに削り、形を整えて貼っていきました。しかしできあがった旗を見ると逆さまだったり、今思うととても苦労していたように思います。こうして3年間作っていましたが、竿竹を用意することが難しくなり棒を用意してもらうようになりました。それからは所生もだんだんと慣れてきて、上手に早くきれいにできるようになりました。旗を持って応援している人を思い、また走っている人がこの旗を見て元気がでたらいなと、みんなで話し合いながら貼っていきました。

地元ボランティア 武川 広子さん
(輪輪かけはし)



第20回大会の開催おめでとうございます。私にとっても長いようでも、早かったようにも感じるころがあります。

記憶では、大会が始まる数年前に大会のコース設定を検討する練習会に参加しました。物見峠下からJRの

加茂駅に至る約20kmに参加、当時高校を卒業した、私の娘との参加でした。足の水膨れがとてもしたそうだったことが思い出されます。

現在は地元大会であること、またきついコースにも関わらず景色の良さ、完走後の満足感などから津山走ろう会として毎年15~20名が参加しています。

大会の1ヶ月前の3月には大会コースを使って仕上げの練習会を開催して、体と気持ちの準備をしています。大会当日の35km以後の我慢につながっているように感じています。

私のこれからの夢は先程申し上げた子どもが40歳になろうとしています。近い将来、親娘そろって大会に参加して、完走できればと思い描いています。

この大会がこれからも長く続くことを願っています。

参加者 亀田 栄三さん (津山走ろう会)



第20回大会おめでとうございます。地元岡山でフルマラソンがあると知り、夫婦で申し込みました。それから毎年楽しみと励みになり、今回走ると夫婦で20回連続出場となります。

第1回大会で40歳以上の部で優勝(総合2位)第10回には招待選手として走りました。雨の時や暑い日もあり、コースも厳しく、特に最後の3.5kmの上り坂は苦しいところです。しかしゴール後の温泉とカレーやうどんは疲れを癒してくれます。帰ってくるランナーは疲れていても素晴らしい顔でゴールを目指し、たどりついたら感激します。この達成感と走りきったという充足感がマラソンの醍醐味といえます。また、大会後の鉢植えの花々はいつもわが家の庭を飾ってくれています。そして沿道の多くの方々の応援は、大変力になって我々を励ましてくれます。この大会を開催されている主催者や地元の皆様のご苦労は大変なことと思って、いつも感謝しています。今後も続けてくださることをお願い致します。

参加者 佐藤 宏道さん



被表彰団体・個人一覧表

(敬称略)

区分	団体・個人名	代表者名	住 所	表彰の種類
協力 機 関 団 体 等	日本赤十字社岡山県支部	支部長 石井 正弘	岡山市北区丸の内2丁目 7-20-201	感 謝 状
	西日本旅客鉄道(株) 岡山支社 津山駅	駅長 加藤 義久	津山市大谷178	感 謝 状
	学 校 法 人 津山基督教学園	理事長 井澤 保	津山市沼121	感 謝 状
	岡山県建設業協会 津山支部	支部長 坂本 道治	津山市山下46-7	感 謝 状
	加茂木材青年協議会	会長 藤本 裕久	津山市加茂町公郷1670-2	感 謝 状
協賛企業	加茂繊維(株)	社長 角野 充俊	津山市加茂町青柳593	感 謝 状
	大塚製薬(株)岡山出張所	所長 古後 博之	岡山市北区下中野402-4	感 謝 状
ボラン ティア 団体	知和自治団成年部	代表 田中 善則	津山市加茂町知和	感 謝 状
	河井町内会 私設給水所	代表 小原まさ彥	津山市加茂町河井31	感 謝 状
個人	奥 埜 重 夫	前実行委員長	津山市加茂町桑原	功 労 賞

協 賛 企 業

(敬称略)

大会回数	協 賛 企 業 名		
第1回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	
第2回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	
第3回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	
第4回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	
第5回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	
第6回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	大塚製薬(株)
第7回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	大塚製薬(株)岡山出張所
第8回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	大塚製薬(株)岡山出張所
第9回	加茂繊維(株)	グンゼ(株)久世工場	大塚製薬(株)岡山出張所
第10回	加茂繊維(株) ウィンドアップ	グンゼ(株)久世工場	大塚製薬(株)岡山出張所
第11回	加茂繊維(株)	大塚製薬(株)岡山出張所	ウィンドアップ
第12回	加茂繊維(株)	大塚製薬(株)岡山出張所	ウィンドアップ
第13回	加茂繊維(株)	大塚製薬(株)岡山出張所	ウィンドアップ
第14回	加茂繊維(株)	大塚製薬(株)岡山出張所	ウィンドアップ
第15回	加茂繊維(株) 全秦通商(株)	大塚製薬(株)岡山出張所 大正製薬(株)	ウィンドアップ
第16回	加茂繊維(株) 全秦通商(株)	大塚製薬(株)岡山出張所 大正製薬(株)	ウィンドアップ
第17回	加茂繊維(株) 全秦通商(株)	大塚製薬(株)岡山出張所 大正製薬(株)	ウィンドアップ
第18回	加茂繊維(株) 全秦通商(株)	大塚製薬(株)岡山出張所 大正製薬(株)	ウィンドアップ
第19回	加茂繊維(株) 全秦通商(株) 田中貴金属工業(株)	大塚製薬(株)岡山出張所 大正製薬(株)	ウィンドアップ (有)小松清掃社

マラソン年表

回	開催年	月 日	参加申込者数	内 容	日本・世界の出来事
1	1993 (平成5年)	4月18日	301人 (21都道府県)	平成4年11月16日第1回実行委員会を開催し、大会要項を決定する。平成5年4月18日岡山県下で初のフルマラソン「作州・加茂フルマラソン全国大会」を開催する。参加申込者は21都道府県から301人で制限時間は6時間。	非自民連立政権発足 皇太子ご夫妻結婚 Jリーグ開幕 W杯アジア最終予選の「ドーハの悲劇」
2	1994 (平成6年)	4月17日	481人 (29都道府県)	平成5年12月9日第2回実行委員会を開催し、実行委員会組織・開催要項・予算決定する。コースを東西橋を渡り北上するコースから三ツ岩橋を渡るコースに変更する。	関西国際空港開港 リレハンメル冬季オリンピック
3	1995 (平成7年)	4月16日	500人 (25都道府県)	大会名称を「作州・加茂郷フルマラソン全国大会」に名称を変更する。観光協会は、参加者70名にキャンプ場（パンガロー）無料開放し、「第8回朝市」を会場内で同時開催する。3月17日阿波村内折返し地点手前に30cmの積雪を確認。当日折り返しの「三角すい」を雪で作成する。	阪神大震災 地下鉄サリン事件 ウィンドウズ95発売
4	1996 (平成8年)	4月21日	618人 (23都道府県)	上位入賞者に杉の板で作成した賞状を贈呈する。「マスコットの愛称募集」をし、応募総数132点の中から最優秀は勝田郡勝田町の片山亜由美さん（10歳女）の「カモランちゃん」に決定する。コースを三ツ岩橋から清流橋経由に変更する。	アトランタオリンピック 原爆ドーム世界遺産登録 イギリス狂牛病騒動
5	1997 (平成9年)	4月20日	682人 (23都道府県)	天満屋陸上部佐々木精一郎総監督、前川未奈選手を招待する。第1回から4回までの優勝者を招待する。入賞者1位から3位に杉、4位から6位に杉の板で作成した賞状を贈呈する。4月26日、山陽放送テレビで「小さな町のフルマラソン」と題して大会準備や当日の様子が30分の番組として放映される。商工会婦人部による「作州矢筈太鼓」演奏がスタート前の選手を激励する。	ダイアナ元妃事故死 北海道拓殖銀行、山一證券など金融破綻相次ぐ 消費税5% 神戸連続児童殺傷事件
6	1998 (平成10年)	4月19日	713人 (20都道府県)	「日本マラソン100選」（マラソン塾・編）、ランニング大会100選に65位、11年4月に初めて認定される。天満屋陸上部の内田礼子選手を招待する。加茂フォトクラブが第1回「マラソン大会写真展」を開催する。	長野冬季オリンピック 和歌山毒入りカレー事件 北朝鮮ミサイル三陸沖へ「モーニング娘」デビュー
7	1999 (平成11年)	4月18日	691人 (21都道府県)	天満屋陸上部武富豊監督と内田礼子選手（10km走行）を招待する。岡山県警音楽隊が開会式で演奏する。種目男子50歳以上の部を新設し、募集人数を500人から700人に増やした。（制限時間折返し地点を3時間にする）平成10年9月に実行委員会が高知県馬路村「おらが村心臓やぶりフルマラソン大会」を視察する。	東海村臨界事故 東海道新幹線700系（アヒル顔）導入 欧州通貨統合で「ユーロ」誕生
8	2000 (平成12年)	4月16日	674人 (25都道府県)	平成11年12月28日「作州・加茂郷フルマラソン全国大会」のホームページを開設する。第7回大会までの優勝者5名を招待する。津山駅～加茂駅～会場間の臨時バス運行を開始する。第1回の前夜祭を加茂町農林センターで開催し、アトラクションとして矢筈太鼓・山彦太鼓を演奏する。	白川英樹ノーベル化学賞 BSデジタル放送開始 カメラ付携帯電話新発売 雪印食中毒事件 三宅島火山噴火
9	2001 (平成13年)	4月15日	792人 (26都道府県)	今大会より選手へのメッセージカードを加茂保育園・加茂幼稚園・加茂小学校・阿波幼稚園・阿波小学校の園児・児童が600枚作成し、贈る。全国ランニング大会100選に2回目の認定をされる。選手募集を山陽放送テレビで、1回15秒（5回）行なう。	米国同時多発テロ事件 サッカーくじ「toto」発売 野依良治ノーベル化学賞
10	2002 (平成14年)	4月21日	918人 (30都道府県)	天満屋陸上部 松尾和美選手を招待する。今大会より自動計測システムを導入する。阿波地内竹之下から高矢組の間は、バイパスから村道を走行するコースに変更する。応援手旗1,000本を知和老人クラブが製作する。	学校完全週5日制 サッカーW杯日韓共同開催 牛肉偽装事件 小柴昌俊ノーベル物理学賞 田中耕一ノーベル化学賞

回	開催年	月日	参加申込者数	内 容	日本・世界の出来事
11	2003 (平成15年)	4月20日	974人 (30都道府県) ミニマラソンの部 113名	今大会からミニマラソンの部 (4.2195km)を新設する。参加費は1人 1,500円で、コースは県道を一部経由し 農道を3回周回する。全国ランニング大 会100撰に3回目の認定をされる。	イラク戦争 ツベルクリン廃止(小・中) 日本郵政公社発足 世界人口63億人
12	2004 (平成16年)	4月18日	1,229人 (30都道府県) ミニマラソンの部 154名	ミニマラソンのコースを、フルマラソ ン大会と同じコース上へ変更し、折返し は成安樓付近にする。フルマラソン参加 者が、1,000人を超える。全国ランニ ング大会100撰に4回目の認定をされる。	アテネ五輪 九州新幹線部分開業 新潟で集中豪雨 浅間山21年ぶり噴火 新潟県中越地震
13	2005 (平成17年)	4月17日	1,154人 (30都道府県) ミニマラソンの部 124組	平成17年2月28日市町村合併により、加 茂町・阿波村も津山市になる。実行委員会の構 成団体に津山市・津山市教育委員会・作州津山 商工会が新たに加わる。大会名称に「合併記念」 を入れる。募集人数を800人から1,000人にす る。全国ランニング大会100撰に5回目の認定 をされる。	郵政選挙で小泉自民党大勝 尼崎JR脱線事故 日本道路公団分割民営化 平成の大合併 耐震強度偽装問題
14	2006 (平成18年)	4月16日	1,150人 (30都道府県) ミニマラソンの部 125組	今大会より「津山加茂郷フルマラソン 全国大会」に名称変更する。全国ラン ニング大会100撰に6回目の認定をされる。 18年7月マルセンスポーツ・文化活動助 成金交付を受ける。	堀江ライブドア事件 しまなみ海道全線開通 サッカーW杯ドイツ大会 開催 日本郵政株式会社発足
15	2007 (平成19年)	4月15日	1,317人 (27都道府県) ミニマラソンの部 204人	マラソン実行委員会が「第65回(平成 19年)山陽新聞奨励賞(社会部門)」を受 賞する。全国ランニング大会100撰に7 回目の認定をされる。加茂町小淵地内の 市道が土砂崩れのため、塔中・小中原地 内を通るコースに変更する。	今年は記録的猛暑日が続 く 国立新美術館開館
16	2008 (平成20年)	4月20日	1,458人 (31都道府県) ミニマラソンの部 255人	規約改正をし、運営委員会新設し、検討委員 会廃止した。マラソン実行委員会が、平成21年 4月「平成19年度岡山県生涯スポーツ功労賞」 を受賞する。平成20年3月9日(日)に第1回のA ED講習会を実施、20名が受講する。全国ラン ニング大会100撰に8回目の認定をされる。	米証券リーマンブラザーズ 破綻 北京五輪 後期高齢者医療制度スター ト 東海北陸道全線開通
17	2009 (平成21年)	4月19日	1,553人 (31都道府県) ミニマラソンの部 252人	平成21年3月8日に緊急時に備えるた め第2回のAED講習会を実施、19名が 受講する。今大会より、前夜祭を中止する。	民主党へ政権交代し鳩山 首相誕生 オバマ氏第44代米大統領 領に就任 漢字検定問題発覚 浅間山噴火
18	2010 (平成22年)	4月18日	1,776人 (33都道府県) ミニマラソンの部 396人	ミニマラソンの参加費を1,000円に改 定する。加茂中学校吹奏楽部が開会式で 演奏する。手話通訳2名を配置する。	チリ大地震で大津波警報 日本放送協会、(野球賭博 問題)大相撲生中継を中 止 高速道路無料化社会実験
19	2011 (平成23年)	4月17日	1,991人 (34都道府県) ミニマラソンの部 387人	20周年記念事業検討委員会を設置する。3月11 日に発生した「東日本大震災」の被災者に募金活動 をし義援金を贈る。また、東北大震災の救援のため 救護を依頼していた勅日本赤十字社岡山県支部が急 遽これなくなる。田中貴金属工業株式会社より特別協賛と して、金・銀賞メダルの寄贈を受ける。日本テレビ 系列「行列のできる法律相談所」レギュラー出演の 東野幸治が初のフルマラソンに出場する。	東日本大震災 東京電力福島第1原発事故 サッカー日本女子代表W杯 初優勝 地上デジタル放送完全移行
20	2012 (平成24年)	4月15日		平成23年10月26日第2回実行委員会で、 マスコットキャラクター「かもランちゃん」[か もランくん]を発表する。また、記念誌の発 行など、20回記念事業の骨子を定める。今大 会より募集の受付を、ランナーズに一本化す る。ミニマラソンファミリーの部をベアの部 に変更する。(制限時間に10km地点を1時間 30分にする)	



参加申込等一覧表

回数	大会実施日	種 目	参加申込者	当日出走者	完走者
1	平成5年4月18日	フルマラソン	301	254	232
2	平成6年4月17日	フルマラソン	481	395	335
3	平成7年4月16日	フルマラソン	500	395	353
4	平成8年4月21日	フルマラソン	618	559	463
5	平成9年4月20日	フルマラソン	682	585	488
6	平成10年4月19日	フルマラソン	713	599	500
7	平成11年4月18日	フルマラソン	691	505	416
8	平成12年4月16日	フルマラソン	674	577	493
9	平成13年4月15日	フルマラソン	792	659	558
10	平成14年4月21日	フルマラソン	918	630	586
11	平成15年4月20日	フルマラソン	974	810	724
12	平成16年4月18日	フルマラソン	1,229	1,030	870
13	平成17年4月17日	フルマラソン	1,154	1,000	867
14	平成18年4月16日	フルマラソン	1,150	931	858
15	平成19年4月15日	フルマラソン	1,317	1,171	1,016
16	平成20年4月20日	フルマラソン	1,458	1,222	1,111
17	平成21年4月19日	フルマラソン	1,553	1,314	1,112
18	平成22年4月18日	フルマラソン	1,776	1,496	1,384
19	平成23年4月17日	フルマラソン	1,991	1,681	1,505



津山加茂郷フルマラソン全国大会役員名簿

回	年	名誉会長	大会長	副大会長	顧問	参 与	実行委員長	実行委員代行	副実行委員長	運営委員長	運営委員代行	副運営委員長
1	平成5年	佐々木勝美	内田 皓夫	高矢 嘉次		都井 知嘉 河本 公則 山田 宗志 三浦 喜保 小椋 憲 有岡 啓之 角野 敬治 小林 靖彦 前田 友彦 佐野 博久	奥埜 重夫		野崎 昭男 小原 佳男 寺元 清治 毅 大塚 賢一 平井 毅 黒田 和夫 山口 久志 池田 昭典 泉 輝雄 木本 十郎 岡田 邦男			
2	平成6年	佐々木勝美	内田 皓夫	高矢 嘉次		永礼 達造 都井 知嘉 河本 公則 山田 宗志 三浦 喜保 小椋 憲 有岡 啓之 角野 敬治 前田 友彦 佐野 博久	奥埜 重夫		野崎 昭男 小原 佳男 町田 尚士 毅 森 福寺 宗柏 平井 利之 木本 十郎 藤本 久志 池田 昭典 山口 輝雄 金尾 文正 泉 祥孝			
3	平成7年	佐々木勝美	内田 皓夫	高矢 嘉次		永礼 達造 八東 賢一 河本 公則 山田 宗志 三浦 喜保 小椋 憲 有岡 啓之 角野 敬治 前田 友彦 佐野 博久	奥埜 重夫		平井 毅 野崎 昭男 角野 充俊 賢一 木本 正 大塚 邦男			
4	平成8年	佐々木勝美	大塚 邦久	高矢 嘉次		中尾 嘉伸 八東 賢一 河本 公則 池田 賢次 三浦 喜保 小椋 憲 有岡 啓之 角野 敬治 前田 友彦 佐野 博久	奥埜 重夫		平井 毅 野崎 昭男 角野 充俊 賢一 木本 正 大塚 清治 寺元 十郎			
5	平成9年	佐々木勝美	大塚 邦久	藤本 明弘		中尾 嘉伸 寺元 昭夫 河本 公則 池田 賢次 菅田 貞男 確 國弘 西山 敬治 有岡 啓之 角野 宣之 前田 友彦 光井 松枝 康重	奥埜 重夫		平井 毅 角野 充俊 大塚 賢一 藤井 邦昭 福寺 正 木本 十郎 林 繁夫 岡田 邦男			
6	平成10年	佐々木勝美	大塚 邦久	藤本 明弘		中尾 嘉伸 寺元 昭夫 河本 公則 池田 賢次 菅田 貞男 小椋 國弘 西山 敬治 倉本 和美 角野 敬治 光井 宣之	奥埜 重夫		歌房 富夫 角野 充俊 木本 十郎 毅 福寺 正 平井 毅 繁夫 岡田 慶一 林 邦男			
7	平成11年	佐々木勝美	大塚 邦久	藤本 明弘		中尾 嘉伸 寺元 昭夫 河本 公則 池田 賢次 菅田 貞男 小椋 國弘 西山 敬治 倉本 和美 大塚 賢一 角野 敬治 光井 宣之	奥埜 重夫		歌房 富夫 角野 充俊 木本 十郎 毅 福寺 正 平井 毅 繁夫 岡田 慶一 林 邦男			
8	平成12年	佐々木勝美	大塚 邦久	藤本 明弘		中尾 嘉伸 寺元 昭夫 河本 公則 菅田 貞男 真木 健一 小椋 國弘 歌房 富夫 倉本 和美 大塚 賢一 角野 敬治 光井 宣之	奥埜 重夫	平井 毅	山内 豊久 歌房 富夫 志水 昇 角野 充俊 木本 十郎 毅 福寺 正 池上 啓士			
9	平成13年	佐々木勝美	大塚 邦久	藤本 明弘		中尾 嘉伸 志水 利夫 南都 芳明 菅田 貞男 真木 健一 小椋 國弘 歌房 富夫 倉本 和美 大塚 賢一 角野 敬治 光井 宣之	奥埜 重夫	平井 毅	刈田 昌 大塚 賢一 志水 一則 角野 充俊 湯浅 啓士 毅 福寺 正 池上 邦男			
10	平成14年	佐々木勝美	大塚 邦久	藤本 明弘		中尾 嘉伸 志水 利夫 南都 芳明 菅田 貞男 真木 健一 小椋 國弘 歌房 富夫 倉本 和美 小椋 康寛	奥埜 重夫	平井 毅	森脇 時夫 小椋 康寛 高矢 満雄 政宗 純生 角野 充俊 毅 池上 一則 只友 典正 啓士 福寺 正			



回	年	名誉会長	大会長	副大会長	顧問	参 与	実行委員長	実行委員長代行	副実行委員長	運営委員長	運営委員長代行	副運営委員長
11	平成15年	佐々木勝美	大塚 邦久	藤本 明弘	奥埜 重夫	中尾 嘉伸 藤本 藤平 南都 芳明 菅田 貞男 小椋 國弘 小椋 健一 歌房 富夫 倉本 和美 小椋 康寛	平井 毅		森脇 時夫 小椋 康寛 高矢 満雄 政宗 純生 角野 充俊 仲井 良禅 池上 啓士 福寺 正			
12	平成16年	佐々木勝美	大塚 邦久	藤本 明弘	奥埜 重夫	中尾 嘉伸 藤本 藤平 南都 芳明 菅田 貞男 小椋 國弘 小椋 健一 歌房 富夫 倉本 和美 小椋 康寛	平井 毅		森脇 時夫 小椋 康寛 高矢 満雄 政宗 純生 角野 充俊 仲井 良禅 池上 啓士 福寺 正			
13	平成17年	佐々木勝美	中尾 嘉伸		奥埜 重夫	山本 直樹 久常 勝實 神崎 博彦 森西 順次 政宗 純生 赤澤 俊彦	平井 毅		浅山 尚三 小椋 康寛 高矢 満雄 小椋 健一 岡田 邦男 角野 充俊 池上 啓士 池田 賢次 仲井 良禅 福寺 正			
14	平成18年	佐々木勝美	桑山 博之		奥埜 重夫	山本 直樹 久常 勝實 神崎 博彦 森下 寛明	平井 毅		山内 豊久 政宗 純生 赤澤 俊彦 高矢 満雄 小椋 康寛 小椋 健一 西山 亮二 池田 賢次 池上 啓士 角野 充俊 小椋 懋 仲井 良禅 福寺 正			
15	平成19年	越宗 孝昌	桑山 博之		奥埜 重夫 熱田 章 杉山 忍	福井 啓人 三宅 洋子 藤田 長久	平井 毅		山内 豊久 高矢 満雄 小椋 懋 福田 孝 智和 正 岡崎 秀夫 町田 英夫 角野 充俊 小椋 章光 松本 馨 池田 賢次 池上 啓士 小椋 道典 仲井 康寛 西山 亮二 角野 良禅 福寺 正 俊彦 志水 昇 赤澤 俊彦			
16	平成20年	越宗 孝昌	桑山 博之	米井 知博			平井 毅		山内 豊久 小坂田昌平	池田 賢次	小椋 道典	池上 啓士 西山 亮二 福寺 正 智和 正 小椋 懋 水島 興垂
17	平成21年	越宗 孝昌	桑山 博之	米井 知博			平井 毅		山内 豊久 小坂田昌平	池田 賢次	小椋 道典	池上 啓士 西山 亮二 福寺 正 智和 正 小椋 懋 水島 興垂
18	平成22年	越宗 孝昌	宮地 昭範	森下 寛明			平井 毅		山内 豊久 小坂田昌平	池田 賢次	小椋 道典	池上 啓士 西山 亮二 福寺 正 智和 正 小椋 懋 香川 平治
19	平成23年	越宗 孝昌	宮地 昭範	森下 寛明			平井 毅		山内 豊久 小坂田昌平	池田 賢次	小椋 道典	池上 啓士 西山 亮二 福寺 正 智和 正 小椋 懋 香川 平治
20	平成24年	越宗 孝昌	宮地 昭範	西野 修平	奥埜 重夫		平井 毅		山内 豊久 小坂田昌平 智和 正 小椋 懋	池田 賢次	福寺 正	香川 平治 小椋 行治 藤本 進 美土路有蔵 神田 祥男

編集委員・記念事業検討委員会委員（順不同）

委員長 池田 賢次

副委員長 福寺 正

委員	平井 毅	町田 英夫	真木 健一
	高矢 満雄	智和 正	小椋 懋
	武川 信吾	江原 圭祐	堀 俊夫
	藤本 進	神田 祥男	影森 寿彦
	美土路有蔵	岡田 勉	福見 定治

事務局	内海 誠	山口 道弘	手島 優一
	高橋 優	宰務智恵美	

発刊	2012(平成24)年3月1日
発行	津山加茂郷フルマラソン全国大会 実行委員会
	〒709-3931 岡山県津山市加茂町中原493番3
	電話 0868(42) 4411
印刷所	株式会社 廣陽本社

